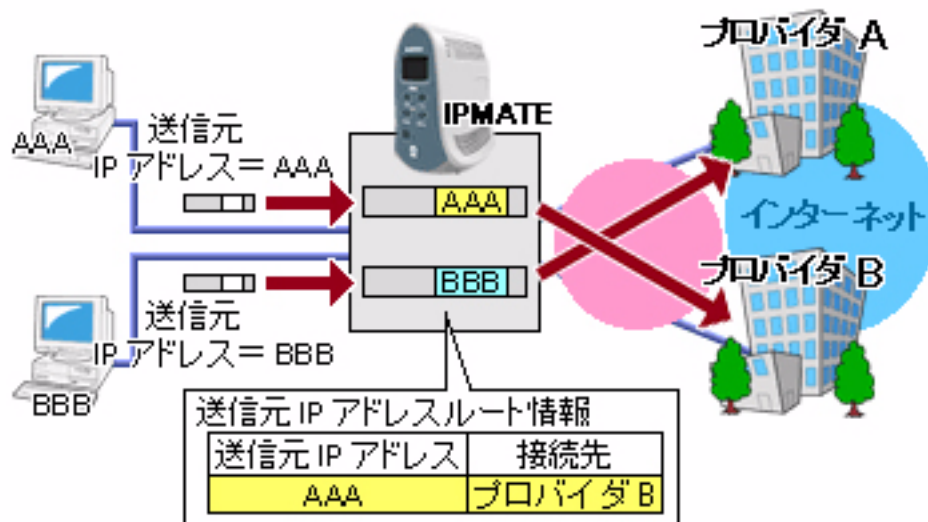


4. インターネットプロバイダとの接続—端末ごとに、接続するインターネットプロバイダを変更する

利用する端末ごとに、接続するインターネットプロバイダを自動的に切り替えることができます。本商品は、指定した端末からデータを受信すると、自動的にインターネットプロバイダを選択し、接続します。このような動作をするためには、「送信元 IP アドレスで接続先を選択」にて送信元 IP アドレスを登録し（送信元アドレスルート情報）、利用する端末ごとに接続先を指定します。



■設定のポイント

- ・ 設定用のパソコンを 1 台決め、WWW ブラウザによる設定を行います。
- ・ インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザ ID、認証パスワード、DNS サーバアドレスを、それぞれ接続先 No1、接続先 No2 に設定します。
- ・ 既存の LAN に DHCP サーバがある場合は、本商品の DHCP サーバ機能を「使用しない」に設定します。
- ・ 端末によって接続先を変更するよう、「送信元 IP アドレスと接続先の対応」を設定します。特定の端末からの送信で接続先を固定する場合、対象としたい装置の IP アドレスと接続先を設定します。

■動作条件

インターネットプロバイダ A に接続

- ・ インターネットプロバイダ指定の DNS サーバ（100.101.102.103 と 100.101.102.104）を使用します。

インターネットプロバイダ B に接続

- ・ DNS サーバアドレスは自動取得とします。
- ・ 端末 A（192.168.1.100）のみ、インターネットプロバイダ B を利用します。

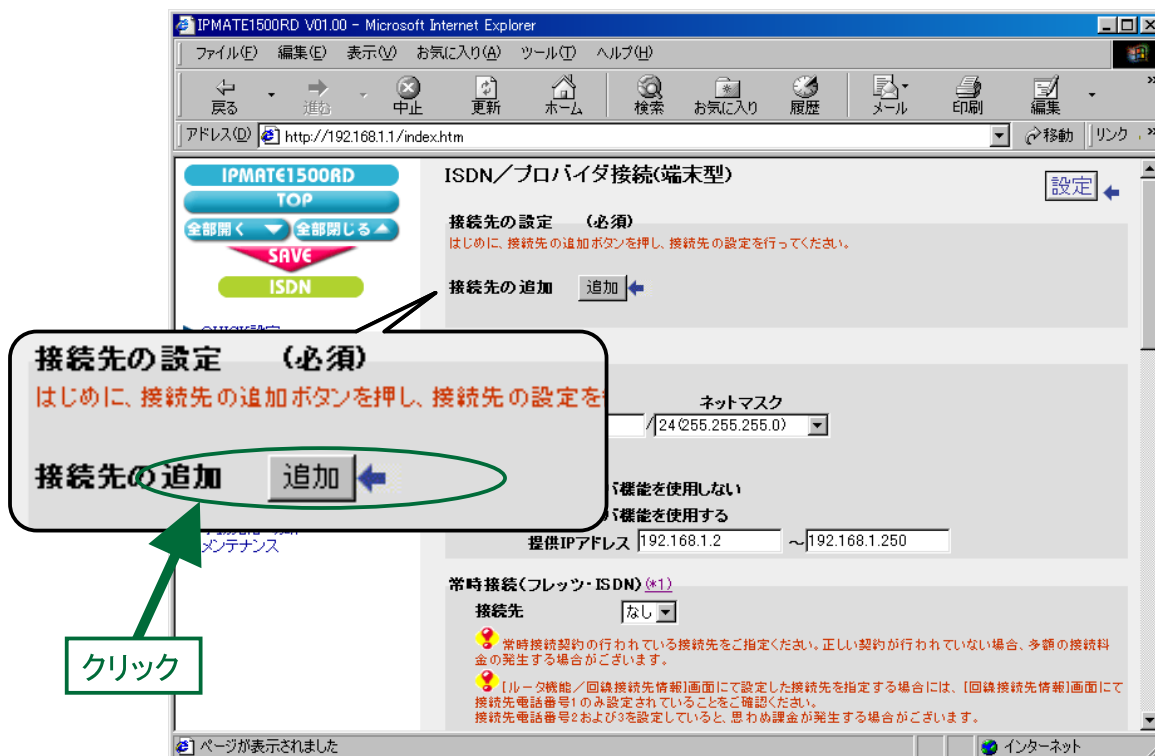
■設定例

1. 設定用のパソコンを 1 台決め、パソコンを本商品に接続します。
WWW ブラウザを起動したのち、本商品にログインします。

2. TOP ページが表示されます。
インターネットプロバイダ A への接続先の設定を行います。
「QUICK 設定」メニューより「ISDN / プロバイダ接続 (端末型)」画面をクリックします。



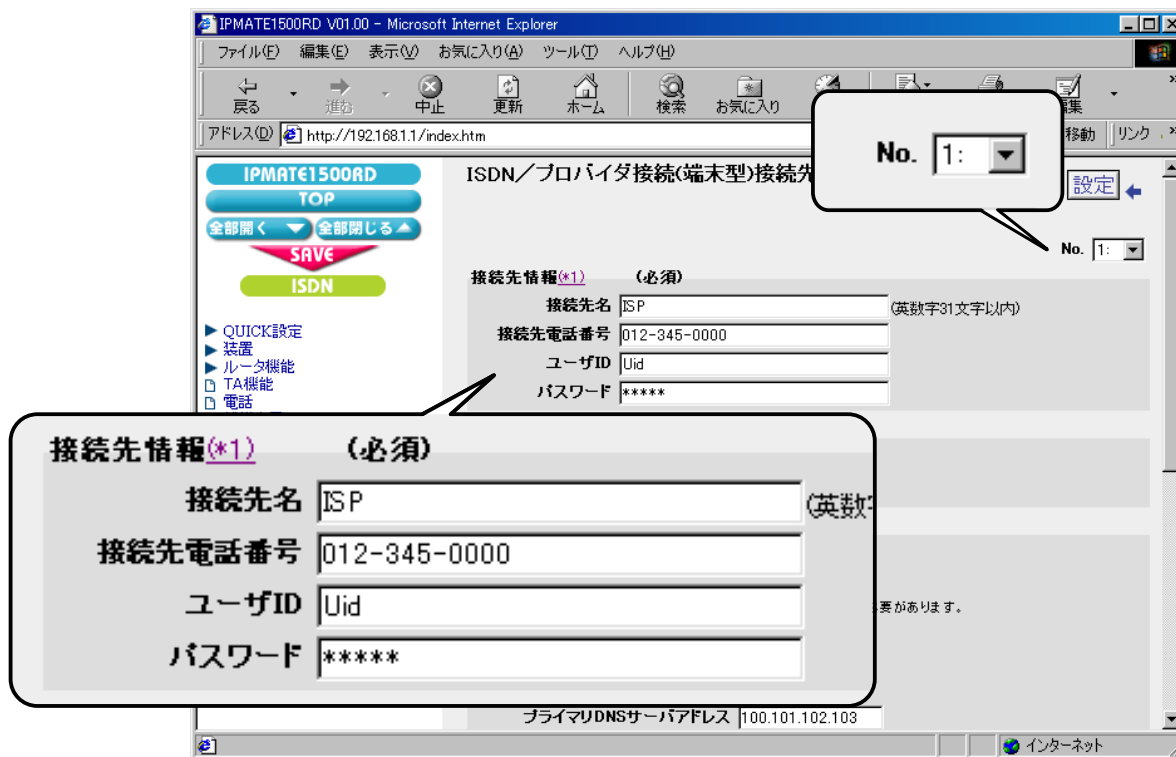
3. 「ISDN / プロバイダ接続 (端末型)」画面が表示されます。
接続先を登録します。「接続先の設定」で [追加] ボタンをクリックします。



4. 「ISDN / プロバイダ接続 (端末型) 接続先の設定」画面が表示されます。
次の項目を設定します。

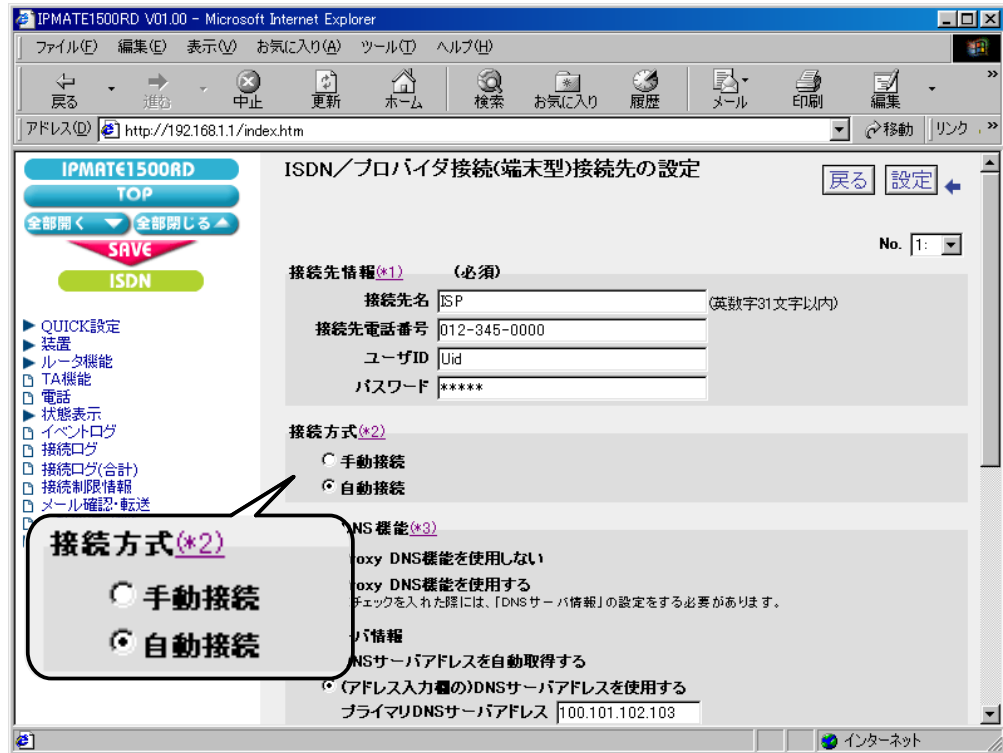
(1) 接続先情報

項目	設定例	備考
No	No1	
接続先名	ISP	任意の名前を設定します。
接続先電話番号	012-345-0000	
ユーザID	Uid	
パスワード	pass1	インターネットプロバイダとの契約内容にしたがって設定してください。



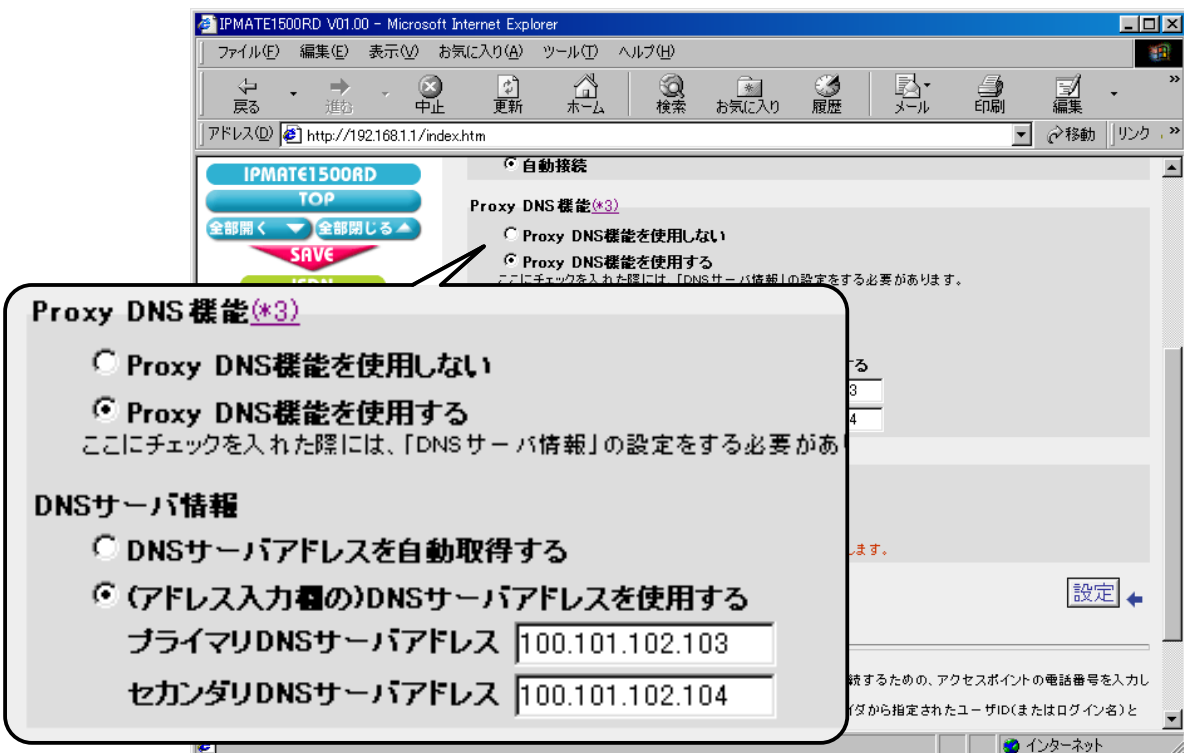
(2) 接続方式

項目	設定例	備考
接続方式	自動接続	



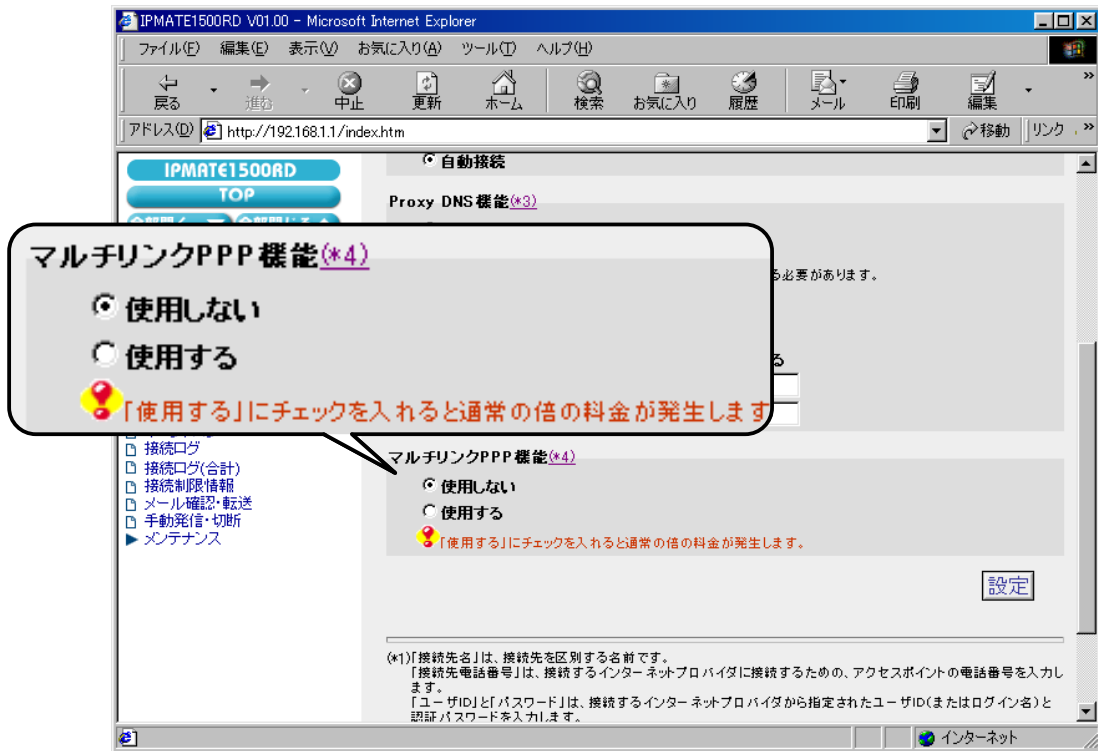
(3) Proxy DNS 機能

項目	設定例	備考
Proxy DNS 機能を使用する	チェックする	
(アドレス入力欄の) DNS サーバアドレスを使用する	チェックする	
プライマリ DNS サーバアドレス	100.101.102.103	自動取得をサポートしているインターネットプロバイダでは、「DNS サーバアドレスを自動取得する」をチェックします。
セカンダリ DNS サーバアドレス	100.101.102.104	

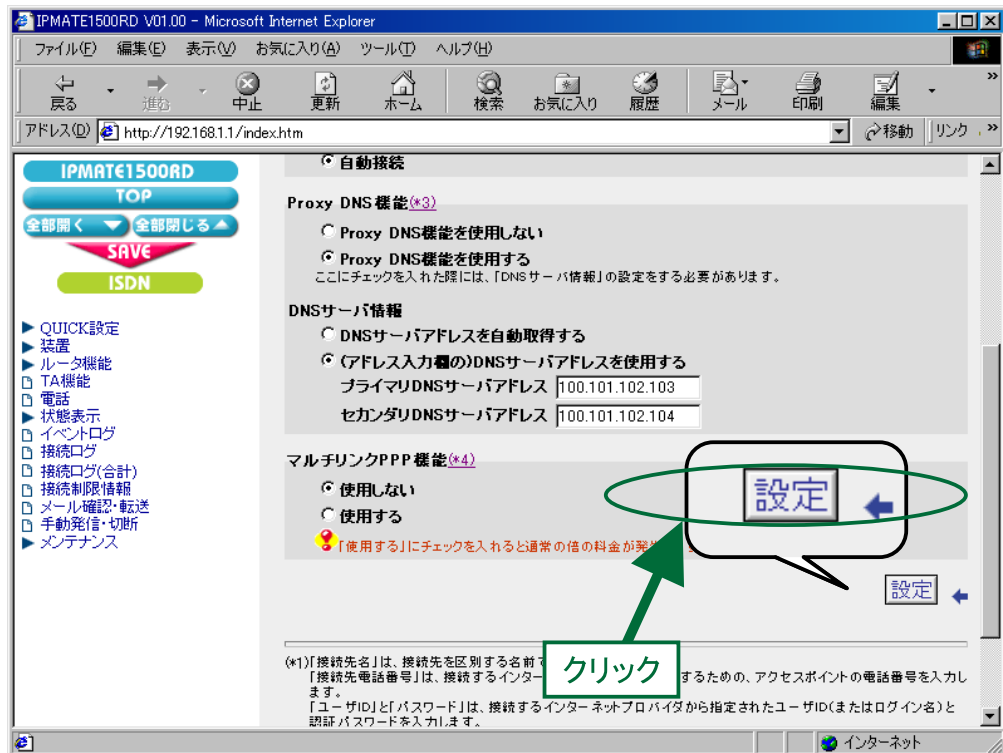


(4) マルチリンク PPP 機能

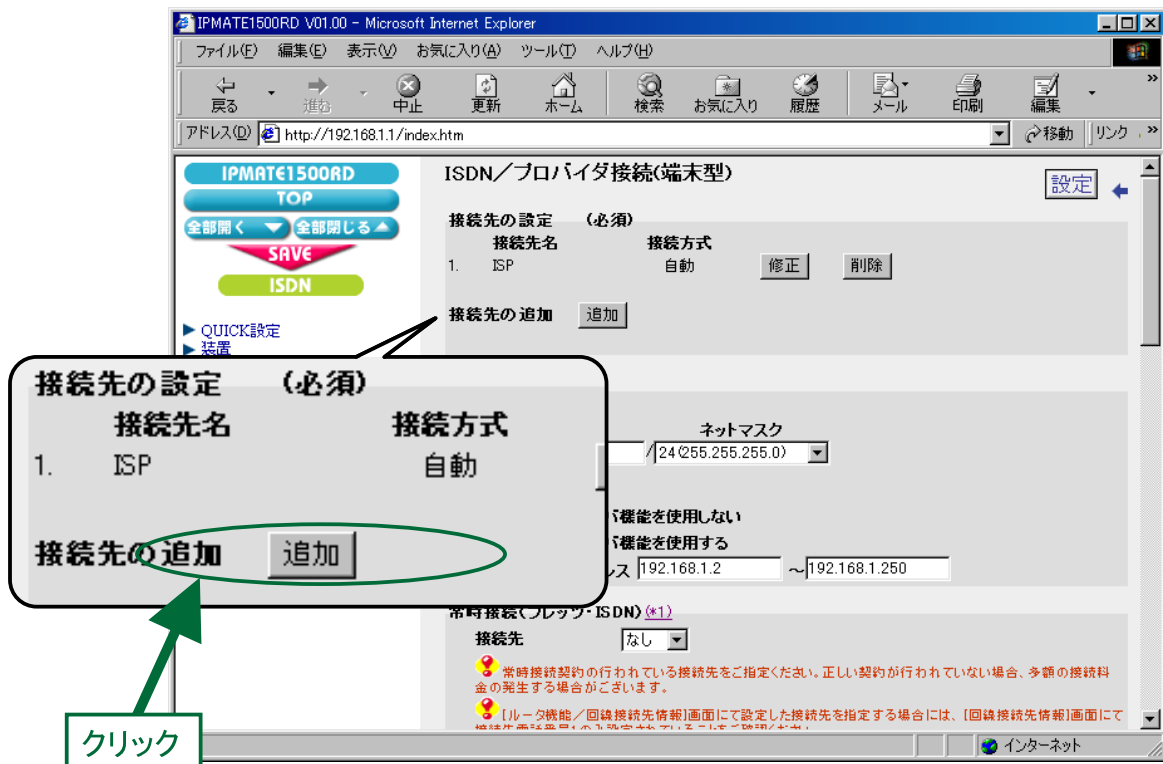
項目	設定例	備考
マルチリンク PPP 機能	使用しない	



5. 「設定」ボタンをクリックします。



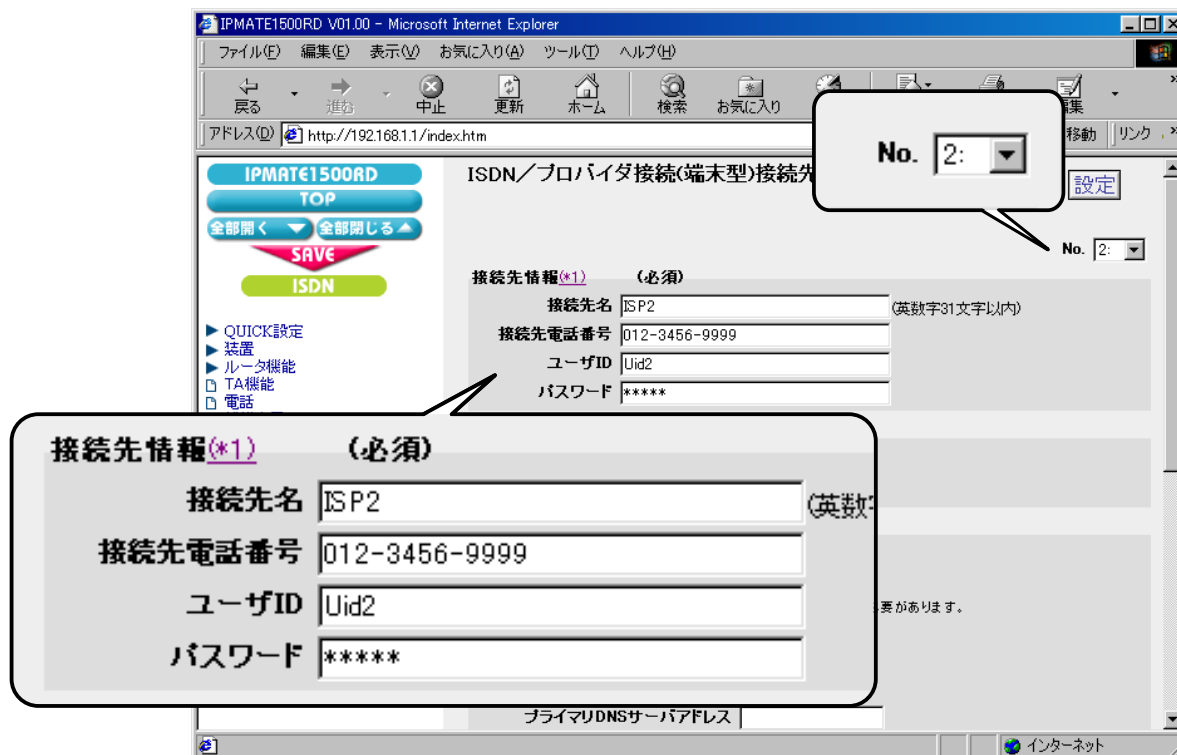
6. 「ISDN／プロバイダ接続（端末型）」画面に戻ります。
引き続き、インターネットプロバイダ B への接続先の設定を行います。
接続先を登録します。「接続先の設定」で [追加] ボタンをクリックします。



7. 「ISDN／プロバイダ接続(端末型)接続先の設定」画面が表示されます。
次の項目を設定します。

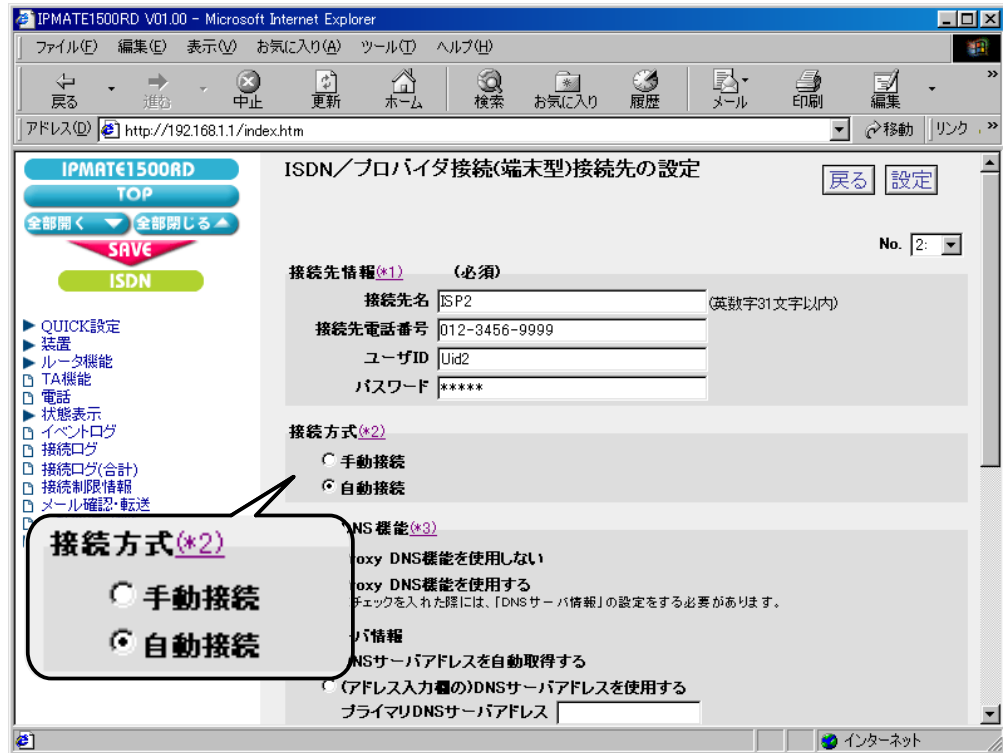
(1) 接続先情報

項目	設定例	備考
No	No2	
接続先名	ISP2	任意の名前を設定します。
接続先電話番号	012-3456-9999	
ユーザID	Uid2	インターネットプロバイダとの契約内容にしたがって設定してください。
パスワード	pass2	



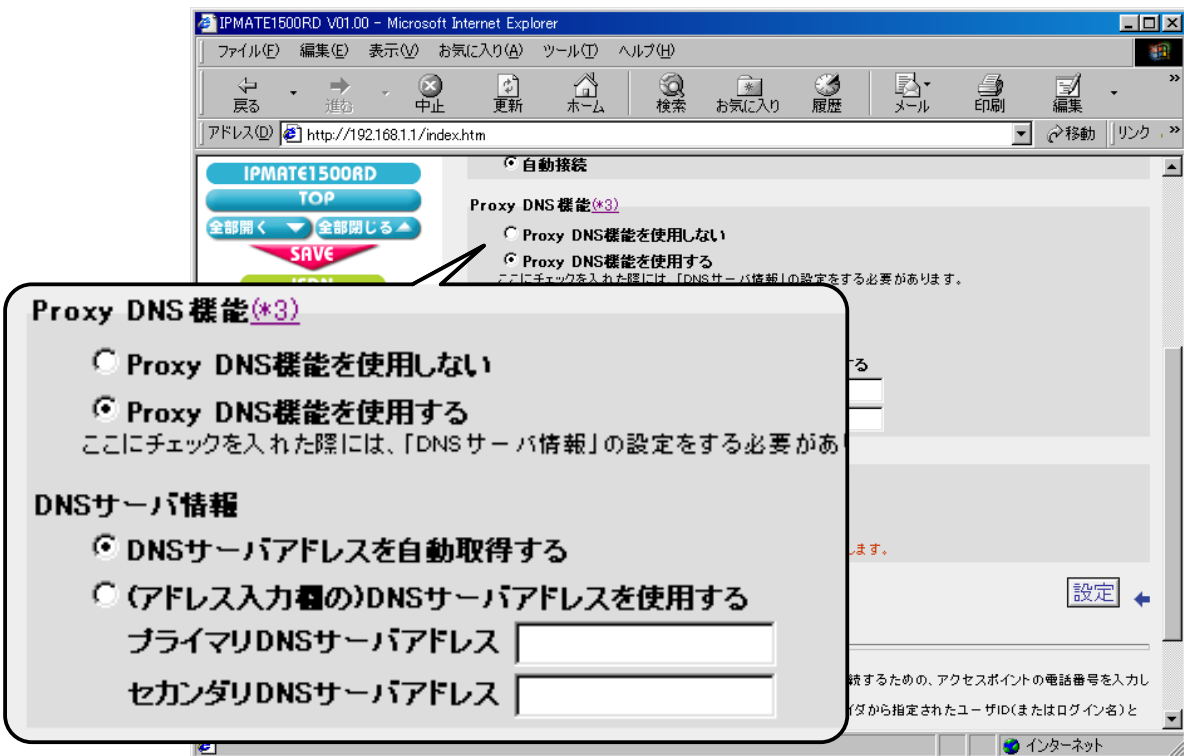
(2) 接続方式

項目	設定例	備考
接続方式	自動接続	



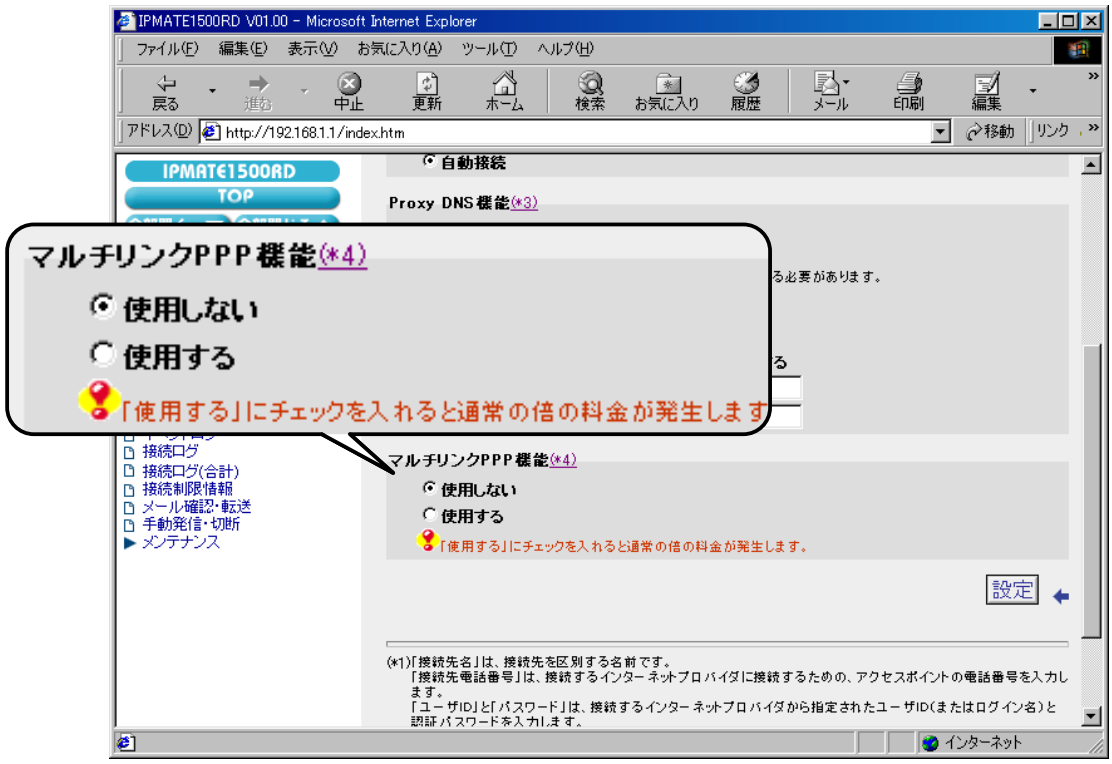
(3) Proxy DNS 機能

項目	設定例	備考
Proxy DNS 機能を使用する	チェックする	
DNS サーバアドレスを自動取得する	チェックする	

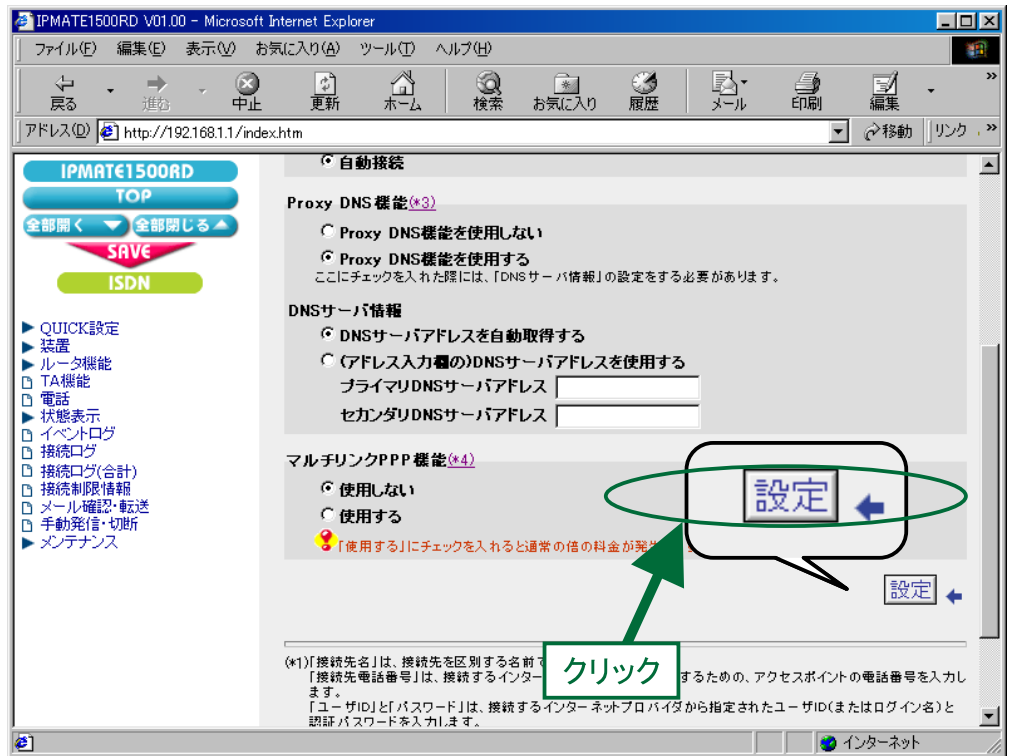


(4) マルチリンク PPP 機能

項目	設定例	備考
マルチリンク PPP 機能	使用しない	

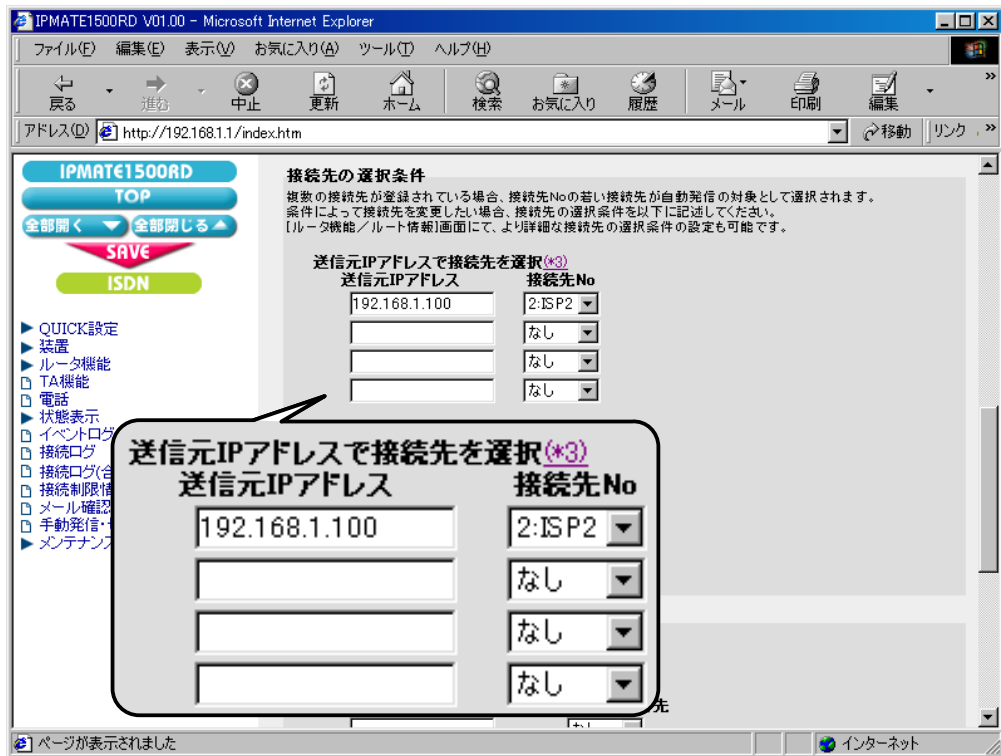


8. 「設定」ボタンをクリックします。

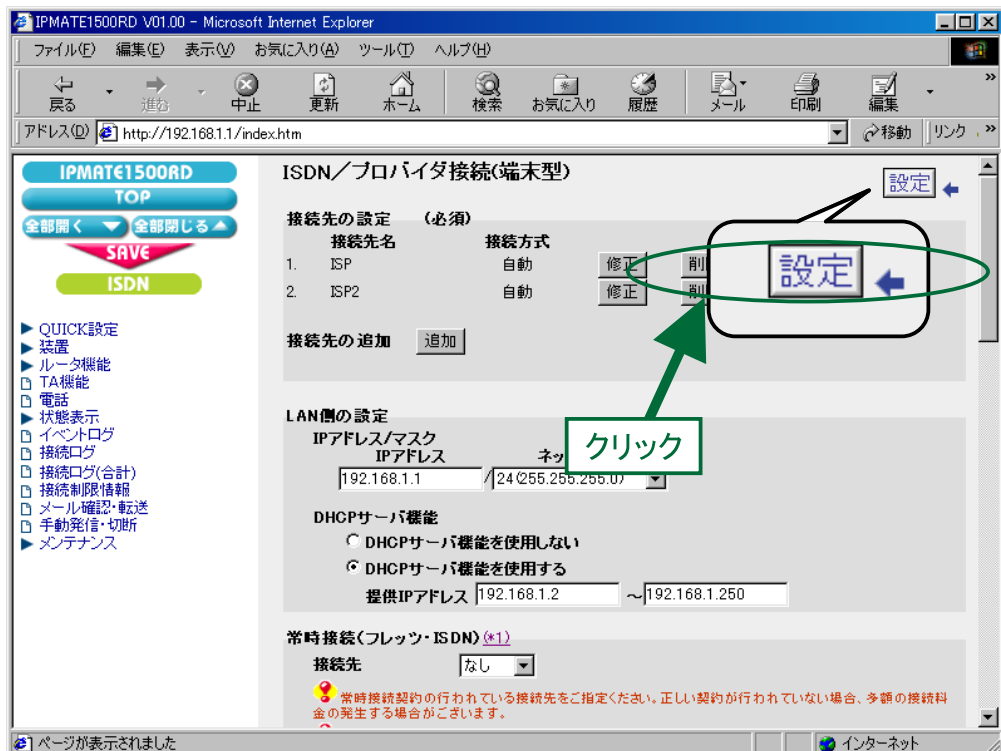


9. 「ISDN／プロバイダ接続（端末型）」画面に戻ります。
引き続き、端末 A の接続先の設定を行います。
「接続先の選択条件」の「送信元 IP アドレスで接続先を選択」にて次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
送信元 IP アドレス	192.168.1.100	
接続先 No	2 : ISP2	



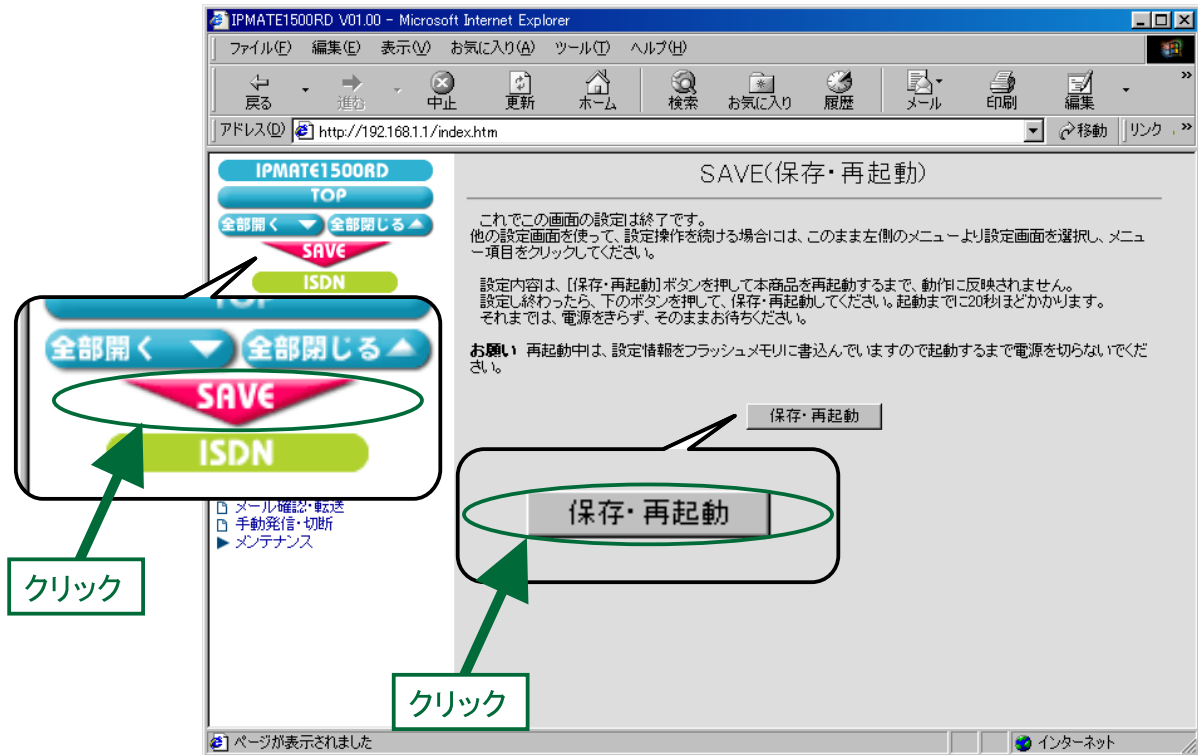
10. [設定] ボタンをクリックします。
* 「LAN 側の設定」「常時接続」「タイマ接続」の設定は不要です。
初期状態のままお使いください。



11. 再起動画面が表示されます。

[SAVE] ボタンをクリックし、[保存・再起動] ボタンをクリックすると、再起動されます。

本商品の液晶ディスプレイに「ISDN READY」または「Layer1 Up」が表示され、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。



以上で終了です。